

| | 3月 | | | | 4月 | | | |
|-------|------|------|------|--------|------|------|------|--------|
| | 最高気温 | 最低気温 | 平均気温 | 雨量(mm) | 最高気温 | 最低気温 | 平均気温 | 雨量(mm) |
| 本年 | 22.4 | 16.5 | 19.3 | 175.5 | 23.4 | 17.6 | 20.3 | 121.0 |
| 平年 | 20.6 | 14.5 | 17.6 | 114.8 | 23.0 | 16.8 | 19.8 | 136.3 |
| 平年との差 | +1.8 | +2.0 | +1.7 | +60.7 | +0.4 | +0.8 | +0.5 | -15.3 |

製糖終了の御挨拶

生和糖業株式会社

取締役工場長 肥後 剛

生産者の皆さま、毎日お疲れ様です。

昨年12月18日から始まった今製糖期は、3月26日に無事操業を終了いたしました。

操業期間84日間、大きな事故もなく製糖期を終了することが出来た事は、何よりありがたい事だと思っております。本当にお疲れ様でした。

今期は、11月の調査時点で茎数不足から69,000トンと厳しい見込みでありましたがブリックスの上昇率が良いことから年内操業を開始しました。

しかし操業を始めてみますと単収が上がらず計画よりも5,000トンマイナスの64,000トンと単収・生産量とも過去4番目に低い結果となり厳しい操業となりました。また、ここ10年間で単収が4トン台という年が5年間あり生産量が低迷している状況で、今後の生産量に大変懸念を感じています。品質面においては買入糖度14.27度と平年並みになりましたが、生産者の皆さまにおかれましても大変厳しい年になったのではないかと思います。

今後は気象要因ばかりではなく農家戸数の減少・高齢化による圃場管理不足など多くの課題があります。栽培の効率化など現状を確り分析し、増産に向けて島全体で取組み頑張ってください。

工場も老朽化した建屋また整備更新など確り整備を実施して来期も安定操業出来るように取組み、島の発展のため頑張ってください。引続きご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

第62期 製糖終了

今期は収量が見込みより下回りましたが、大きな事故やトラブルもなく終了出来たことは関係者の皆さまのおかげです。

皆さま、お疲れ様でした！

今後も単収アップに向け適期管理、早期防除に努めていただきますよう、よろしくお願い致します。



◆◆◆ 収穫面積・生産量の推移 ◆◆◆

| 作 型 各 年 | 夏植 | | | 秋植 | | | 春植 | | | 株出 | | | 合計 | | |
|------------------|--------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|----------|--------|---------|----------|---------|
| | 面積 | 単収 | 生産量 | 面積 | 単収 | 生産量 |
| | (a) | (kg/10a) | t | (a) | (kg/10a) | t |
| 今期(2020/2021) | 15,473 | 6,832 | 10,572 | 12,627 | 5,829 | 7,360 | 16,182 | 3,957 | 6,403 | 92,535 | 4,286 | 39,665 | 136,816 | 4,678 | 64,000 |
| 2019/2020 | 16,122 | 7,745 | 12,486 | 12,164 | 7,237 | 8,803 | 15,401 | 5,677 | 8,743 | 85,921 | 5,505 | 47,300 | 129,608 | 5,967 | 77,332 |
| 前期との差 | -650 | -913 | -1,914 | 463 | -1,408 | -1,443 | 781 | -1,720 | -2,340 | 6,614 | -1,219 | -7,635 | 7,208 | -1,289 | -13,332 |
| 2018/2019 | 13,907 | 6,178 | 8,592 | 8,562 | 5,918 | 5,069 | 14,935 | 4,288 | 6,404 | 93,121 | 4,403 | 41,003 | 130,528 | 4,679 | 61,068 |

◆◆◆ さとうきびの買入糖度・買入価格・トラッシュ率・歩留の推移 ◆◆◆

| 項 目 各 年 | 買入糖度 (%) | 糖度帯 (%) | | | 平均買入価格 (交付金込) | 対前年比 (%) | トラッシュ率 (%) | 工場歩留 (%) |
|------------------|----------|---------|------|------|---------------|----------|------------|----------|
| | | 基準以下 | 基準内 | 基準以上 | | | | |
| 今期(2020/2021) | 14.27 | 13.4 | 38.5 | 48.1 | 22,555 | 98.8 | 10.17 | 12.11 |
| 2019/2020 | 14.93 | 2.8 | 23.5 | 73.7 | 22,810 | 108.5 | 10.56 | 12.78 |
| 2018/2019 | 13.33 | 40.0 | 40.9 | 19.1 | 21,051 | 104.6 | 10.35 | 11.45 |



夏植栽培

単収・糖度アップに向けて！

| 6月 | | | 7月 | | | 8月 | | | 9月 | | | 10月 | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |

植付け適期

※ 株出栽培まで考えて、畦幅を広げて植付けしましょう！
畦幅を広げると…

- 作業性は向上し、労働時間の削減ができます。
 - 生育場所と日当たりが確保され生育がよくなります。
- (茎数を確保するため、苗を多めに入れましょう。)

※ 夏植は 9月中旬までに！

- 年内に最終培土が出来て、労力分散出来る。
- 欠株が少ないので、株出も多収を見込める。

夏植のメリット

- ◎ 春植・株出と比較して、収量増が見込める。
- ◎ 12月の温度が高い時期に収穫すると、萌芽も良く、栽培期間も長く確保され、次年度への好条件になる。

雑草防除について

1、圃場周縁部の雑草の管理は茎葉処理の除草剤を使用したり、刈り払い機等で刈るようにしましょう。

2、圃場内については、新植直後なら土壌処理剤等で雑草の抑制をし、雑草が出始めたら小さいうちに茎葉処理の除草剤で除草に努めましょう。

さとうきび除草剤の使い方

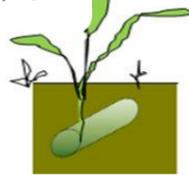
※ 防除のポイント！

適正使用・適期防除を行きましょう！

散布適用



【植付後】
カーメックスD



【雑草発生時期】



【初期雑草生育期】



【雑草生育期】

残量農薬の関係上、収穫前90日以内の使用は禁止されています。

アーザラン・2,4-D



ツクサ



イヌホウズキ
ムラサキカタバミ



セイタカアワダチソウ
ノアサガオ
ギシギシ
タチスズメノヒエ

出はカーメックスDがおすすめです。圃場内では、水害を避けるため、

早めの雑草管理は農薬の使用量を抑える近道です。少ない費用で大きな成果をあげましょう。

適期管理・早期の病虫害防除

苗処理から始める害虫防除！ 手軽な処理で、ゆとりの作業！



| 適用害虫 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数 |
|--------|-----------|-------------------------|---------|----------------|----------------------------|
| メイチュウ類 | 4~6kg/10a | 植付時 生育期 (但し最終培土迄) | 1回 | 植溝土壌混和 株元散布 | 4回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は3回以内) |

編集後記

近年、生産者の高齢化や担い手の減少が進み、収穫面積の株出比率が多くなり台風襲来時には大幅な減収を招いている。

堆肥等有機物投入による積極的な土づくりに加え、心土破碎、深耕の実施と適期植付けで台風や干ばつの時期を迎えるまでに十分な生育を確保することができ、被害を軽減できる。

低単収圃場や多回株出圃場は積極的に植え替えよう！

さとうきび栽培の基本「適期植付」「適期管理作業」を実行すれば自ずと単収はアップする！